

《令和元年度 2学年 先端科学技術講演会》

1月14日に73回生(2年生)を対象として、先端科学技術講演会が行われました。今回の講演会は「金属資源講話」というテーマで、JOGMEC(独立行政法人石油天然学・金属鉱物資源機構)所属の柴原理沙先生よりお話をいただきました。柴原先生は現在、金属企画部調査課で活躍されており、本校の卒業生でもあります。今号ではお話の概略と、一高生の感想を掲載します。

《講演の内容》

＜現在先生が所属している JOGMEC について、その組織が社会全体に果たす役割について＞

JOGMECの正式名称は「石油天然ガス・金属鉱物資源機構(Japan Oil, Gas and Metals National Corporation)」です。石油や天然ガス、金属、石炭、地熱に関する開発支援、またメタンハイドレートなどの新エネルギーの開発や資源備蓄事業等を通じて、国民の生活や産業を支える役割を担う組織であり、その中で資源・エネルギーの安定供給を支える仕事をされています。

＜今携わっているお仕事＞

先生は現在、「調査部」というところに所属しています。少し前まではインドネシアでのニッケルの取引と法整備の関係についての調査、レポート作成を主な活動としていたそうです。その他にも、様々な視察や資源探査船でのボーリング調査など、世界中の拠点を飛び回っていました。

＜高校生のときには＞

ボランティア活動や有志でのプロジェクトに積極的に参加し、経験を積み重ねていったとお話でした。当時、仙台で行われた「国際防災会議」では、高校生代表として英語でスピーチをされたそうです。現在の社会人としての生活にも通ずる姿勢として、常にアンテナを高くしておくことに気を付けているとおっしゃっていました。

＜アドバイス＞

「高校生のうちにできることを全力でおこなうべきです。現時点で将来が分からなくても、この先どう転ぶかは分からないからです。」



以下、生徒の感想を一部抜粋して掲載しています。

- ・“金属”と聞いてよくわからない化学式でも並べられるのかと思っていたが，“金属資源”という分野においては文系の私にとっても非常に身近なものでありとても興味深く聞くことができた。
- ・これからの世界では、さらに資源開発を行ってエネルギーを安定供給できるように整備されなければならない。JODMEGの活動は、今の時代に、今の地球にとっても必要なことで、そういった組織だけでなく我々も皆協力していくことが大切だと感じた。



- ・私は普段、全く金属について考えていない。化学を勉強するとき名前がでてきて「へ〜」と思うくらいで特に何も思っていなかった。しかし、今回の発表を聞いて金属は自分の身の回りにたくさん利用されていて、これからも多くの需要を生むことが予想されているそうなので、大学の研究として学びたいと考えた。

- ・身近にはあふれているのに意外とその生産について知らなかった金属について知識が深まったのは良い経験だった。「資源」という何においても終わりがきてしまうものについては、どこから得るか、どれだけ節約できるかを考えることは、仕事をしている人だけではなく全人類にとって必要なことだと感じた。
- ・自分がやりたいと思った仕事に就けるのはとても楽しそうだなと思ったが、それまでの努力が大切だなと感じた。自分も今とやりたいことが変わっても選択肢が多くなるように勉強を頑張っていきたいと思った。

編集後記

この講演を聞いて、文系理系の枠にとらわれない進路選択の可能性を感じることができたのではないのでしょうか。先生は講演後も遅くまで時間を取り、進路や勉強に関する相談に乗ってくださいました。

2月22日(土)には、学校公開で74回生の中間発表が行われます。1年間研究をしてきた先輩として、後輩たちのためになるようなアドバイスを送ってあげましょう。